

植物多様性センターの「下を向いて開こう？」

早春の花はうつむいて咲く花がほとんどです。冷たい雨の日にその理由がわかりました。おしべやめしべなどの大切な器官を、春先の不安定な天候から守るためです。いっぽうで、上向きに開花するアマナでは寒い日や雨の日はしっかりと花弁を閉じて保護をします。逆にオオバヤシャブシなどの風媒花では、花粉を効率よく受けるため、尾状の雄花序がぶら下がり、雌花が上を向きます。ほんとうにうまくできていますね。



ウグイスカグラ: 長い管状の花冠を吊り下げて咲く



ヒサカキ: 雄花、雌花とも下向きのつぼ型 匂いでハエを呼ぶ



アマナ: 暖かな日には開き、寒い日や夕方には閉じる(円内)



オオバヤシャブシ: 赤いのは雌花序のめしべ 円内は雄花序